

ヨド倉庫

組立説明書

1

SOB-8657型 (L)・(M)・(H)・(FH)



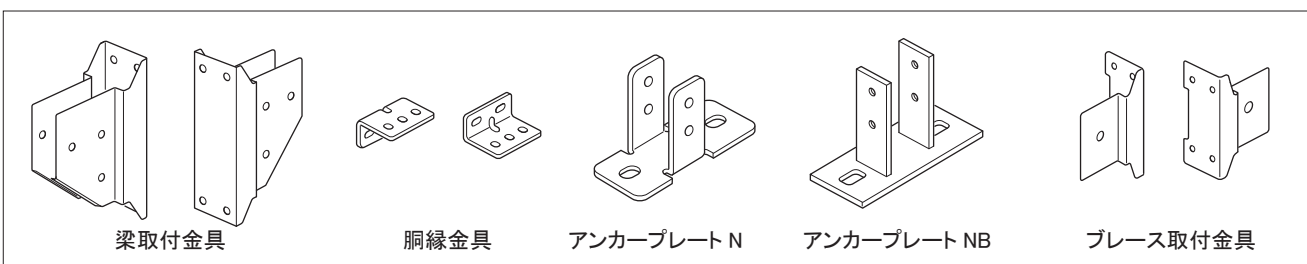
※本説明書はSOB-8657MAを基に説明しております。

※組立説明書Ⅰ・Ⅱの順で組立てください。

※下屋付きの場合は本説明書と「ヨド倉庫下屋」の組立説明書を参照して組み立ててください。

1 前工程（1）

〈使用金具一覧〉



① 梁取付金具を柱の上部に取り付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
※Hタイプの場合は下図と取付位置が異なりますので注意してください。

(柱の上端より806mm下の位置になります)

② 胴縁金具を柱のタップに取り付けます。

(アプセット六角セムスボルトM8×21)

※下から3段目までは図aのように取付け、4段目からは図bのように取付けます。

③ アンカープレートNBを後柱中及び後柱連結に取付け、それ以外の柱にはアンカープレートNを取付けます。

(アプセット六角セムスボルトM10×23)

④ プレース取付金具を図のように前柱右(左)及び中柱右(左)の下部に取り付けます。

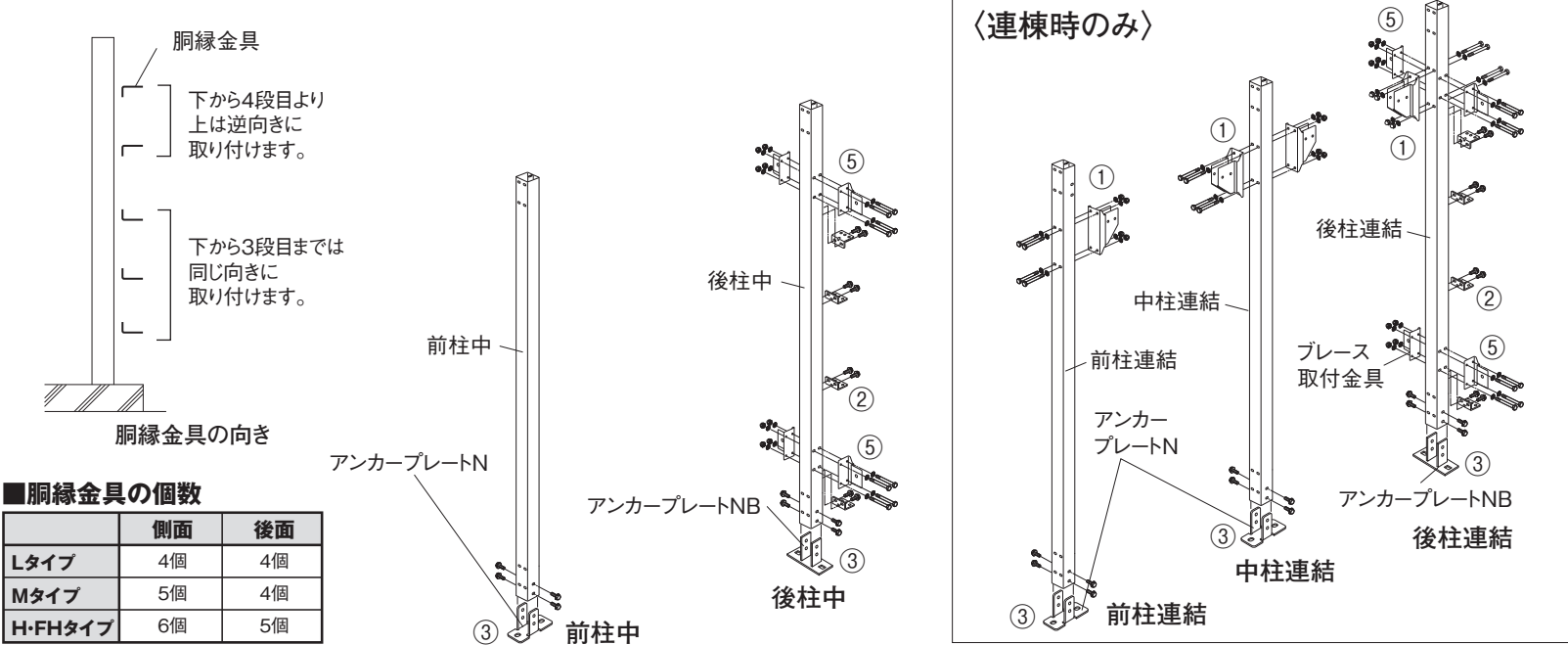
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

⑤ 同様に後柱の上下にもプレース取付金具を取付けます。

(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

※プレースの付かない所にはプレース取付金具は不要です。

(⑧プレースの項目にある配置を確認ください。)

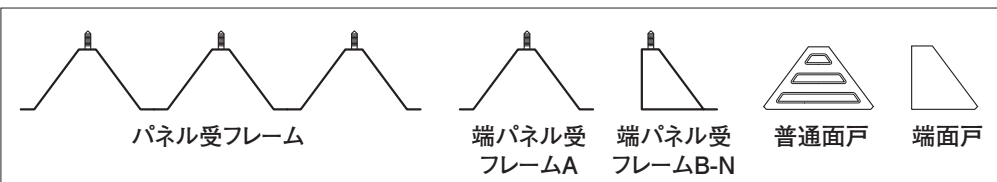


■胴縁金具の個数

	側面	後面
Lタイプ	4個	4個
Mタイプ	5個	4個
H・FHタイプ	6個	5個

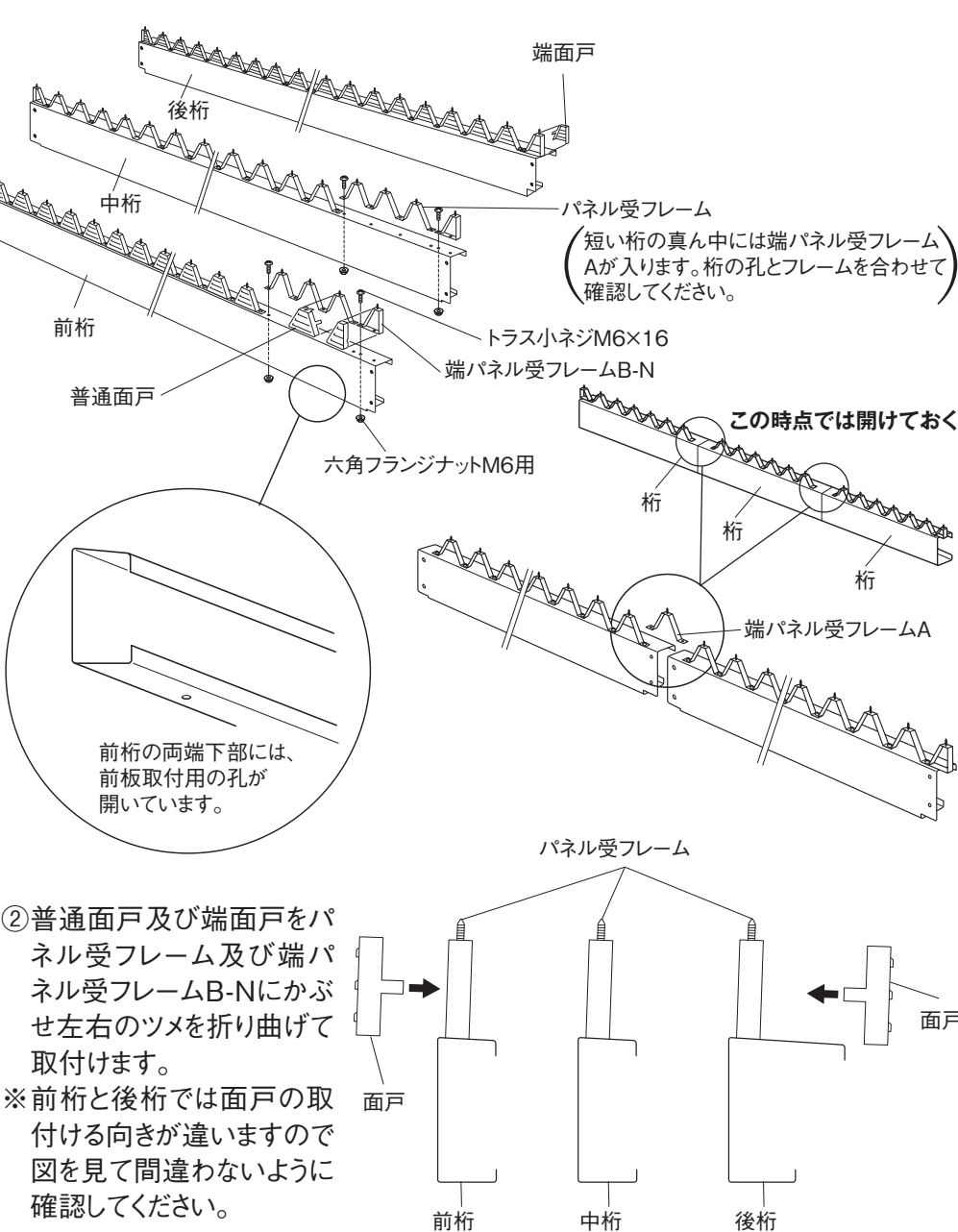
2 前工程（2）

〈使用金具一覧〉



① パネル受フレーム及び端パネル受フレームを桁に取り付けます。
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)

※桁のつなぎ目部分は桁を柱に取付けた後、端パネル受フレームA及び普通面戸を取付けますのでこの時点では取付けません。

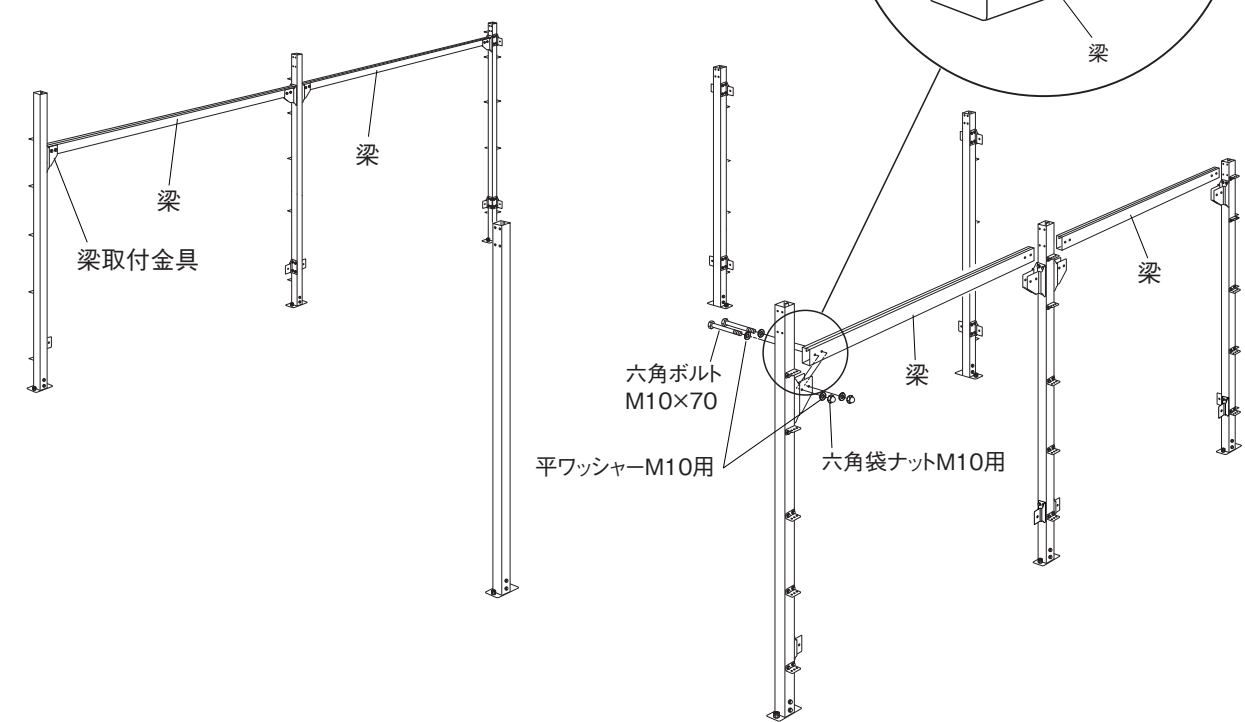


4 梁

① 各柱に取り付けた梁取付金具の上からカシメ部が上にくるように梁を差込み、庫内側からボルト止めします。
(六角ボルトM10×70、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

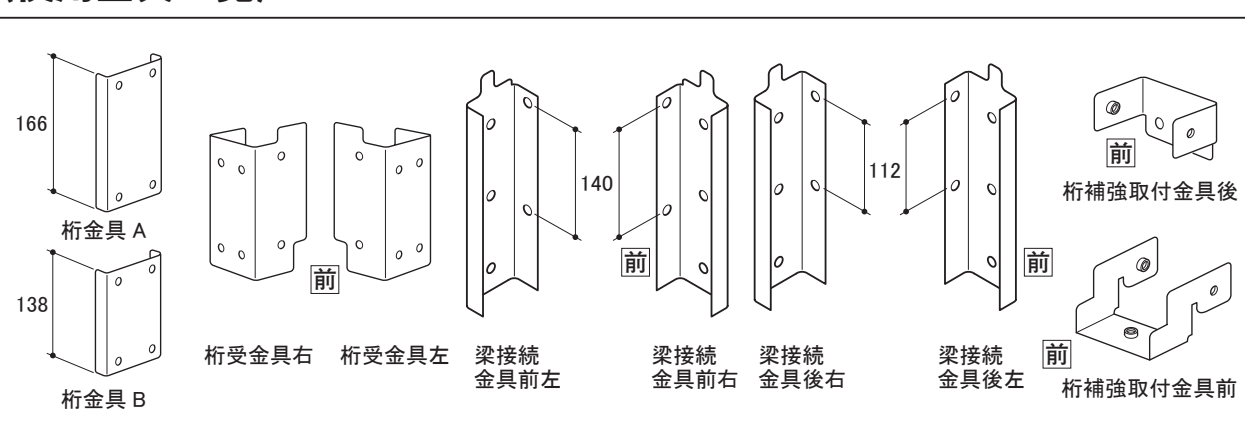
※梁は全て共通で梁取付金具がある両端と連結部に入ります。

下屋付きの場合、梁を止める前に前柱に下屋用コーナカパーと束金具を取付けてください。



5 1 桁及び大梁（梁55A・梁55B）

〈使用金具一覧〉



① 前桁を前柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

② 後桁を後柱に仮預けし、桁金具Bと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
大梁取付箇所以外の後柱中には桁補強取付金具後も同時に取付け、後柱の左右については端桁金具も取付けます。桁のつなぎ目部分には端パネル受フレームAと普通面戸を取付けます。
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)

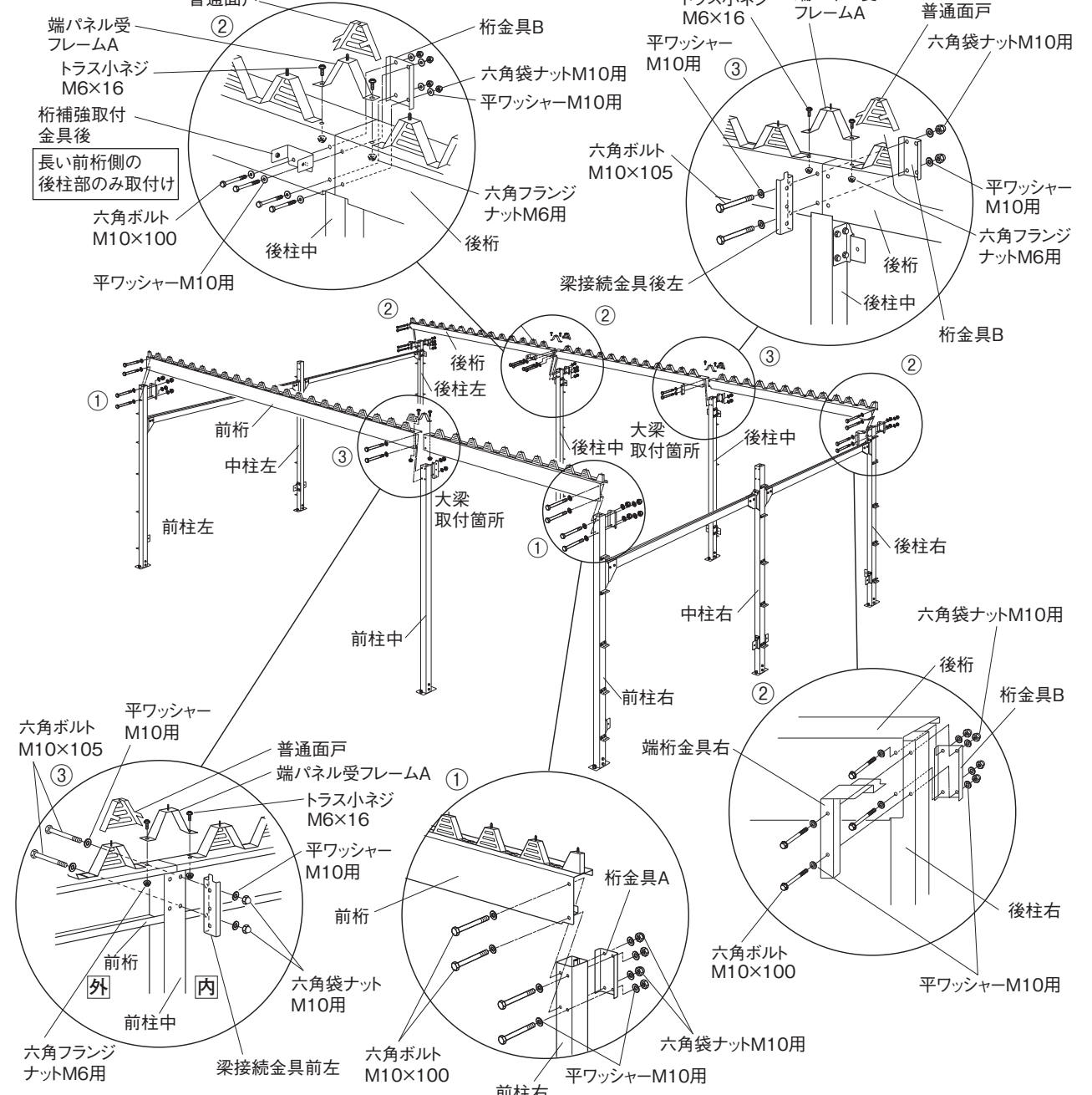
③ 梁接続金具前左を前桁(前柱中)に、梁接続金具後左と桁金具Bを後桁(後柱中)に取り付けます。

※前柱中には桁金具Aは不要です。

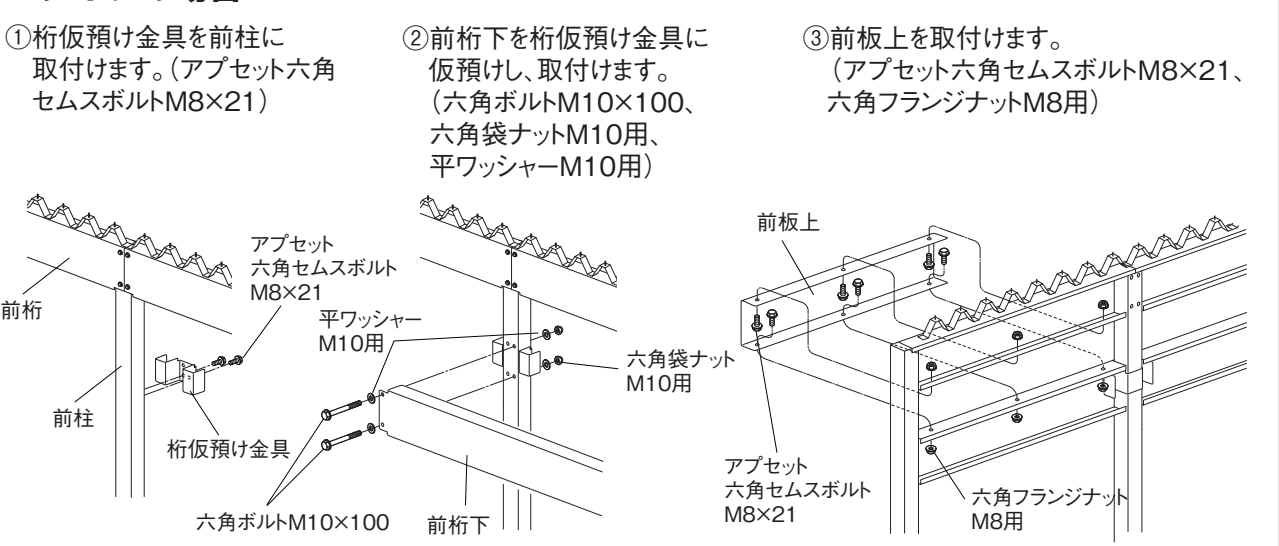
(M10×105六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

桁のつなぎ目部分には端パネル受フレームAと普通面戸を取付けます。

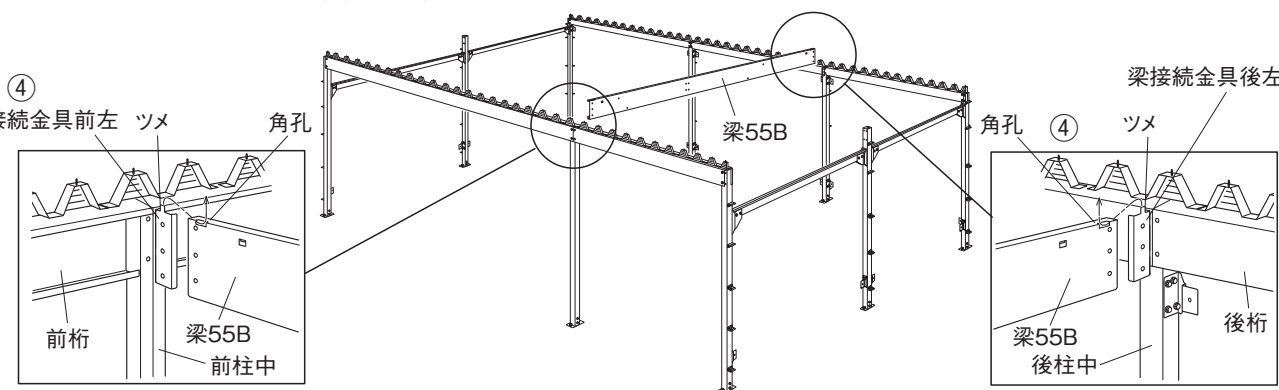
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)



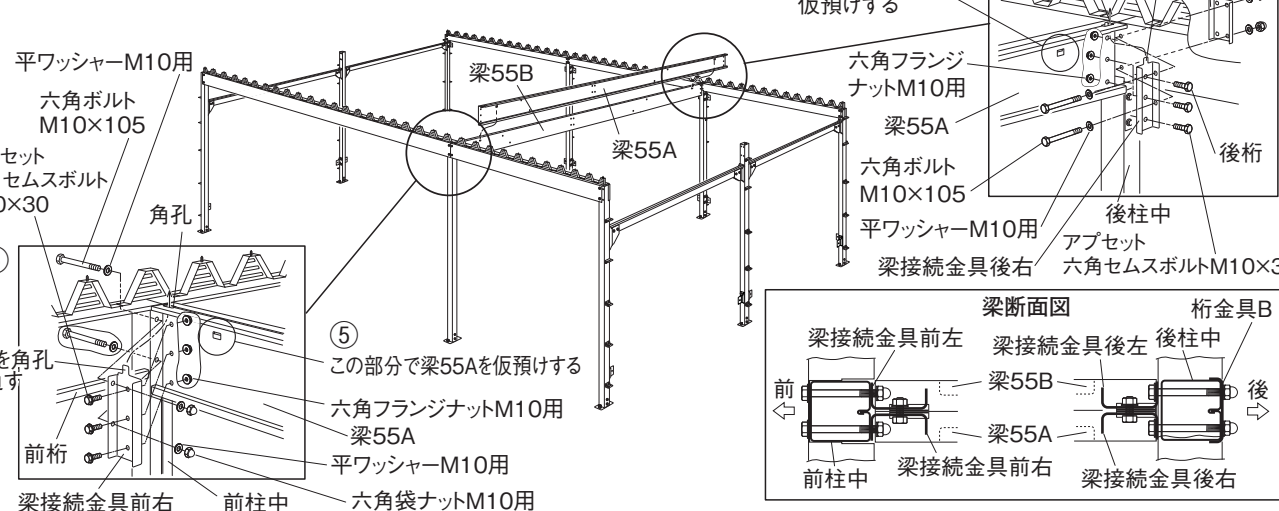
Hタイプの場合



④ 梁55Bの角孔を梁接続金具前左・後左のツメに通して仮預けれます。



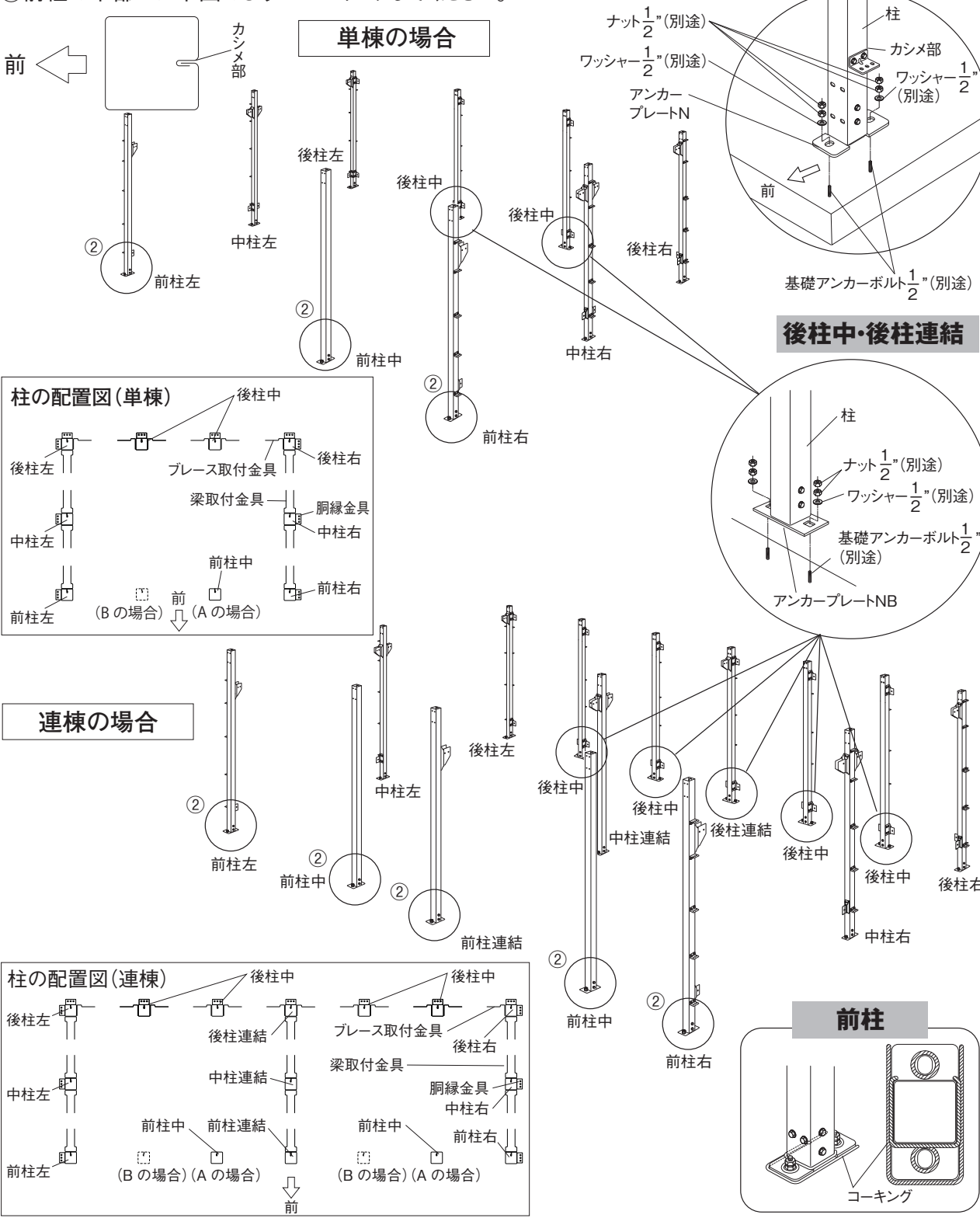
⑤ 梁55Aのツメを梁55Bの角孔2カ所に引っ掛けて仮預けします。
⑥ 梁接続金具前右を前桁(前柱中)に、梁接続金具後右を後桁(後柱中)に取り付けます。(M10×105六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
梁接続金具左右と大梁(55A・55B)を固定します。
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)



3 柱

① 柱をアンカーボルトに固定します。(ワッシャー $\frac{1}{2}$ 、ダブルナット $\frac{1}{2}$)
柱の向きはカシメ部が後にくるようにします。

② 前柱の下部には下図のようにコーキングしてください。



SOB-8657型 1-1

ヨド倉庫

組立説明書 2

SOB-8657型 (L)・(M)・(H)・(FH)



※本説明書はSOB-8657MAを基に説明しております。

※**組立説明書Ⅰ・Ⅱの順で組立てください。**

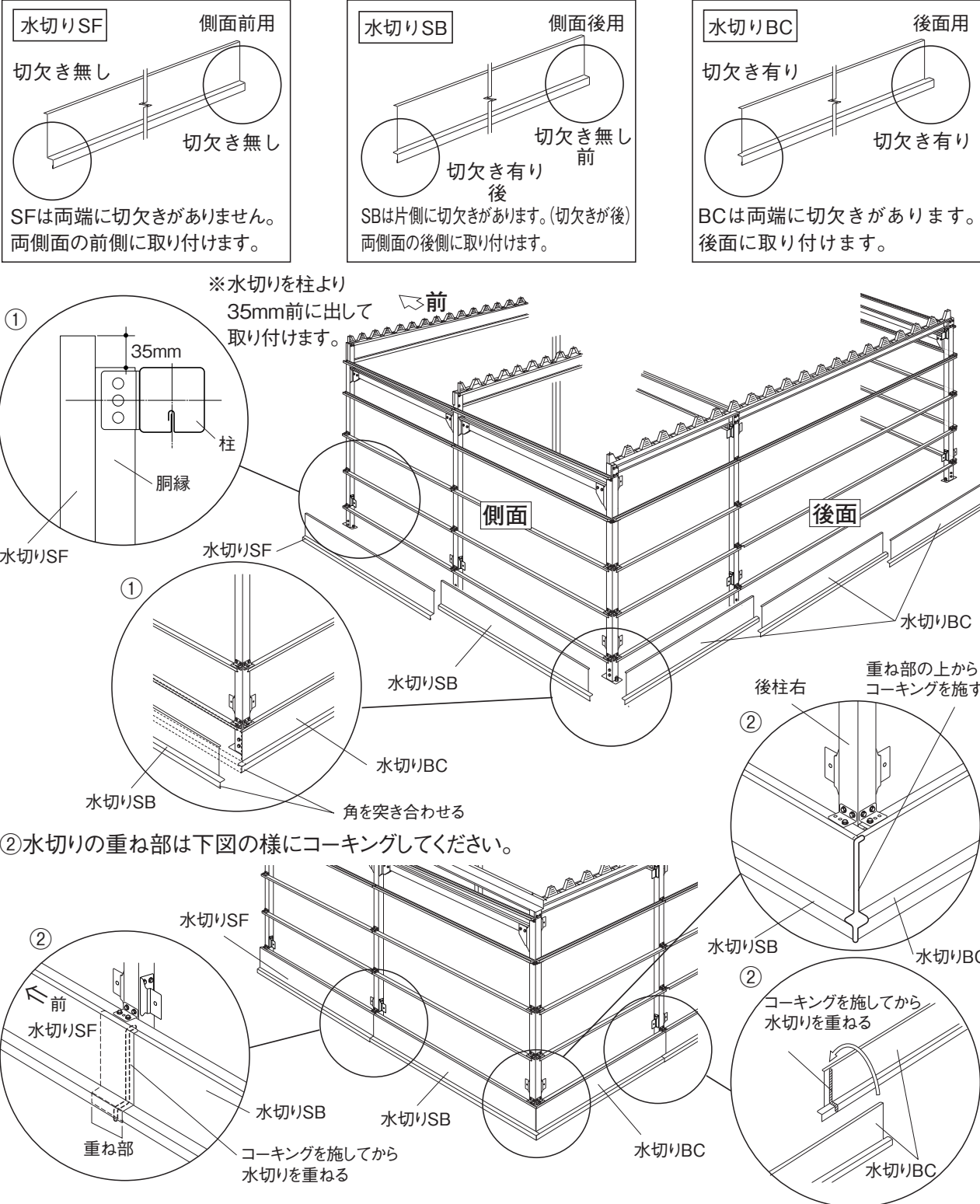
※**下屋付きの場合は本説明書と「ヨド倉庫下屋」の組立説明書を参照して組み立ててください。**

10 水切り及び壁

注意 下屋付きの場合、水切りは柱のツラに合わせます。

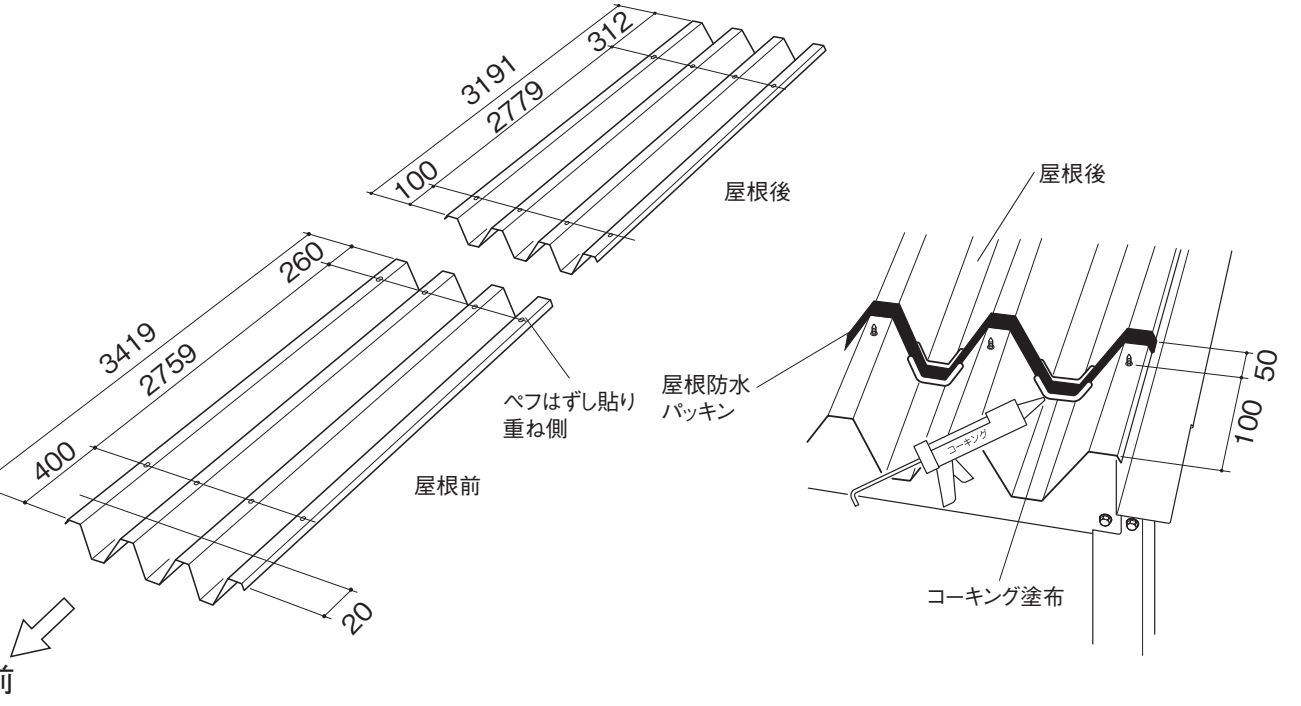
①水切りを一番下の胴縁に仮預けします。水切りBCを後面に配置し、側面後側の水切りSBと角を突き合わせます。水切りSFを側面前側に配置します。

※**水切りSFは胴縁より約35mm程度前に出してください。**



9 屋根及びケラバ接続金具

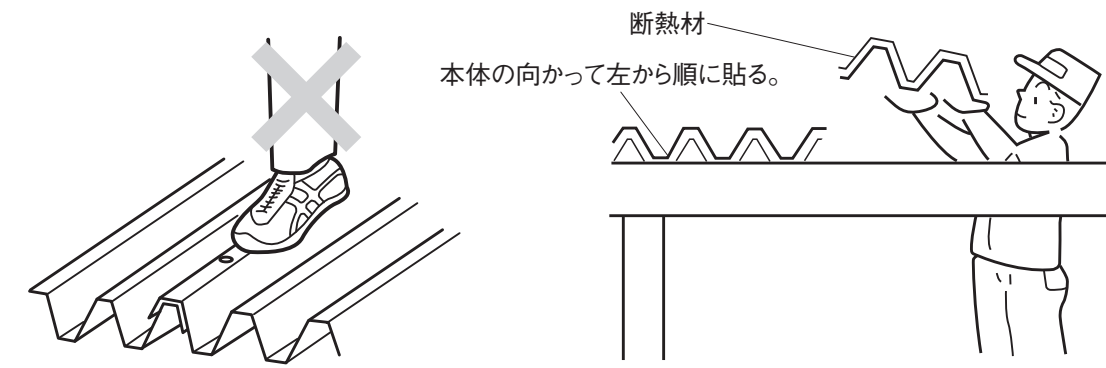
①屋根後をパネル受フレームの剣先ボルトに通してのせます。
②屋根後をのせ終わったら、図のように屋根防水パッキンを取り付け谷部をコーキングします。



▶屋根は前と後の2分割になっていますので、屋根の重ね部には、防水パッキン、コーキングを**必ず**施してください。

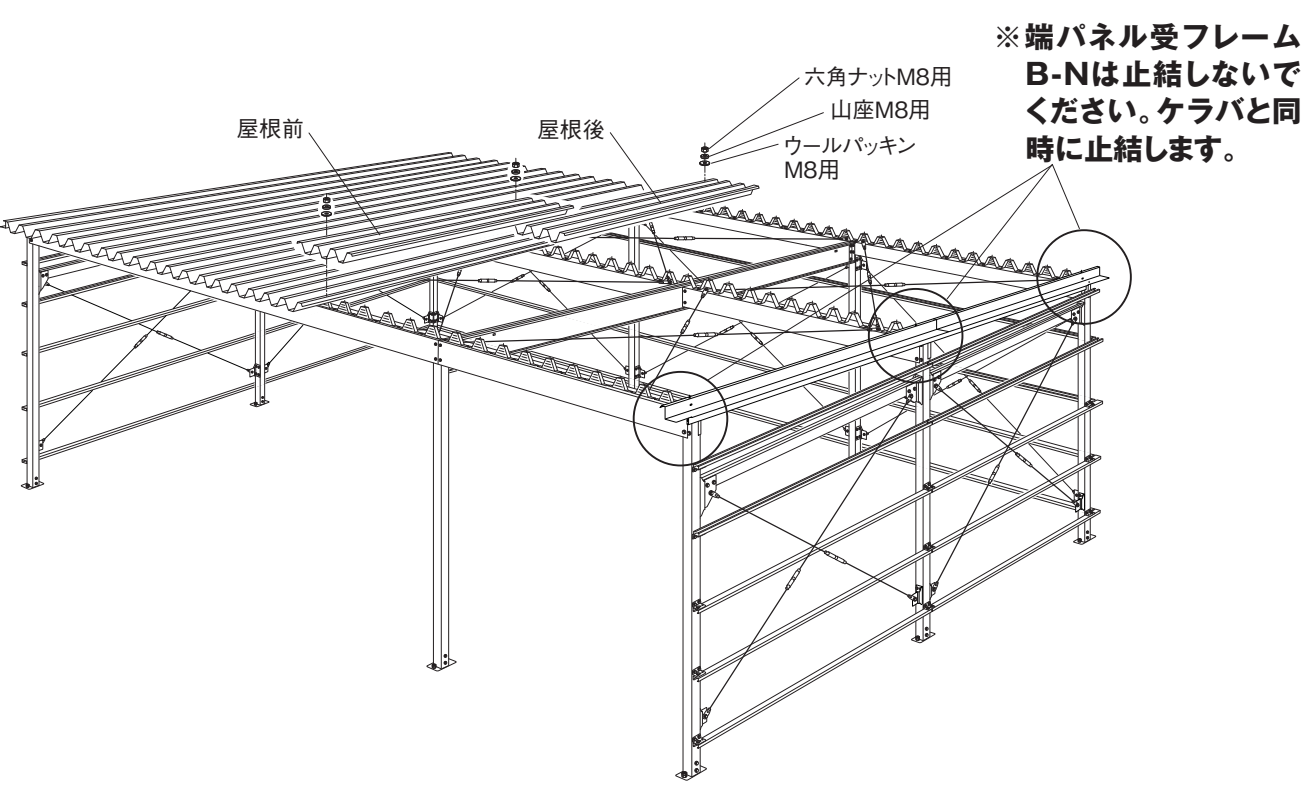
△ 注意

- 屋根に上る場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
- 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。
- 屋根の裏面に柔らかな断熱材が貼ってありますので、キズつけないように取り扱いには十分ご注意ください。

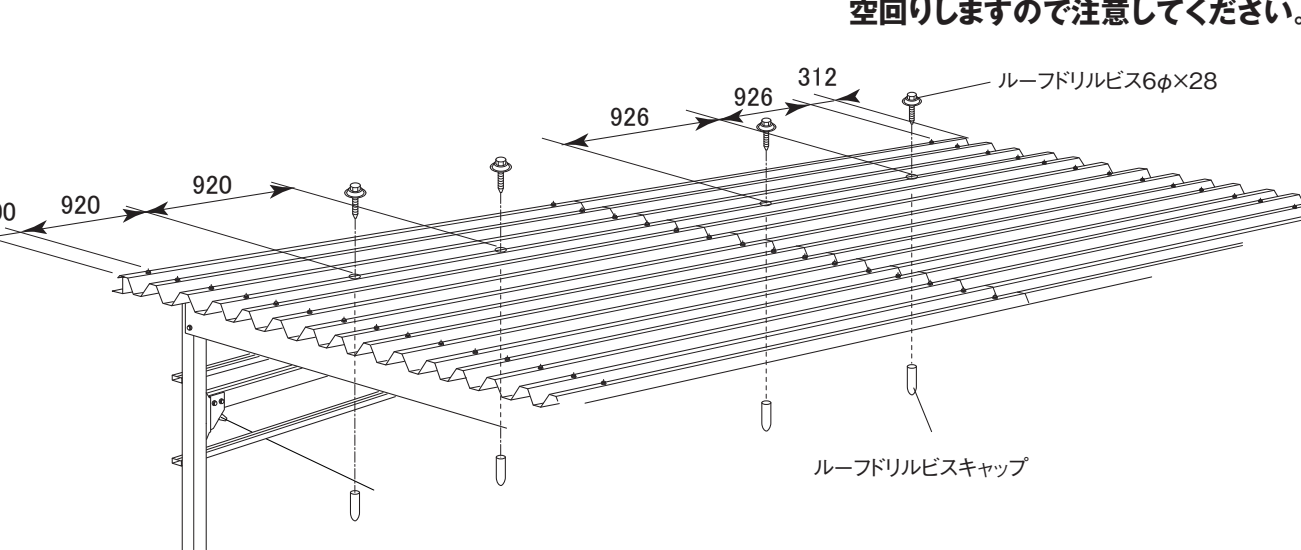


③屋根前も同じようにパネル受フレームの剣先ボルトにのせたら、両端部を残し止結します。(ワールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)

注意 屋根をのせたら仮締めし、ブレース等で調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。(調整方法は⑧ブレースを参照)調整後、胴縁と屋根を本締めします。

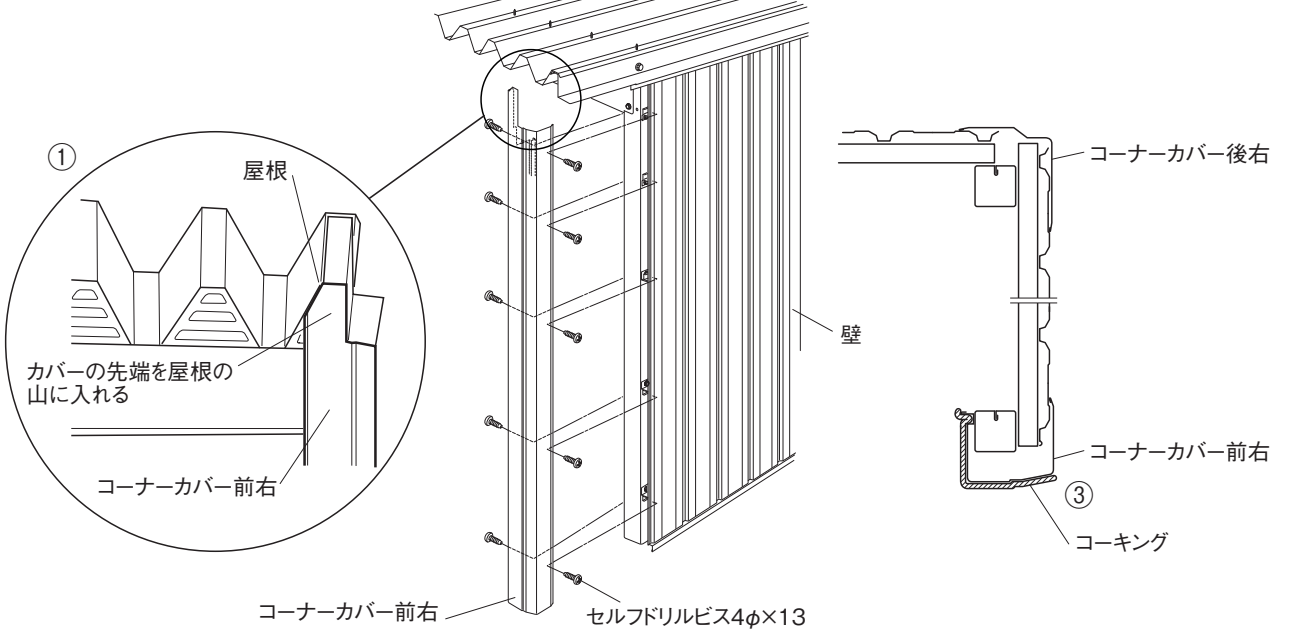


④屋根を本締めで固定した後、屋根重ね合わせ中央部をフレーム間で2ヶ所止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。(ルーフトドリルビス6φ×28、ルーフトドリルビスキャップ)

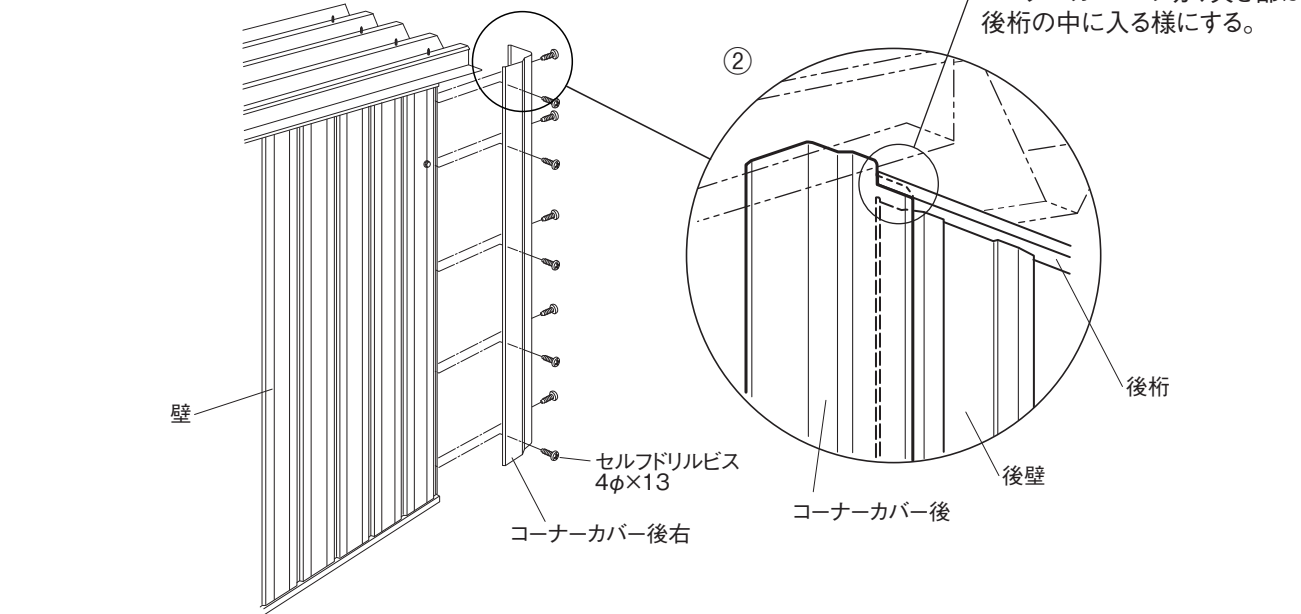


11 コーナーカバー

①コーナーカバー-前右及び前左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って胴縁に固定します。(セルフトドリルビス4φ×13)



②コーナーカバー-後右及び後左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って固定します。(セルフトドリルビス4φ×13)
※コーナーカバー-後は取り付けの向きに注意してください。(切り欠きのある方が上で、切り欠きは後桁の方にきます。)



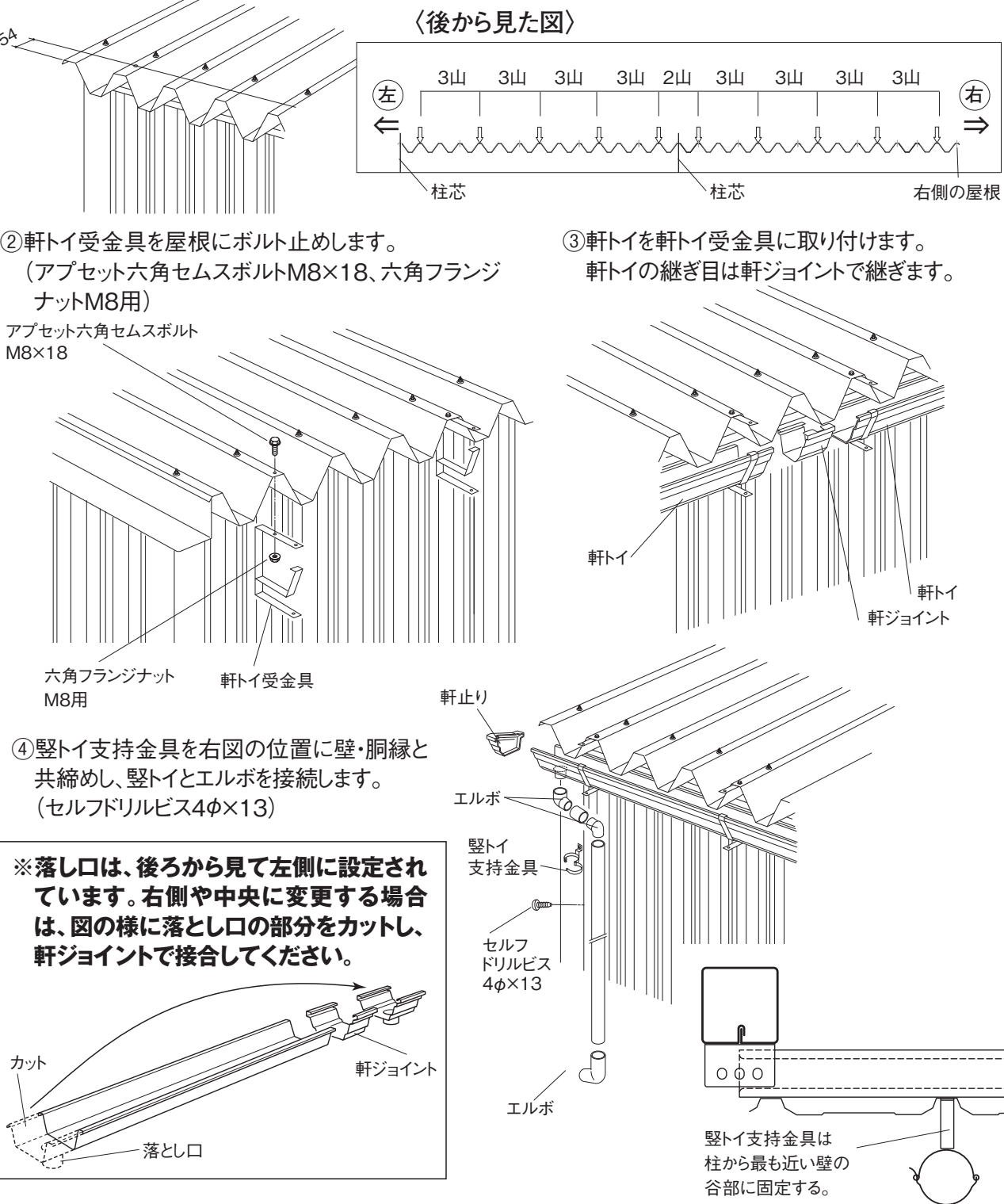
③上図のようにコーキングを行って下さい。

12 トイ

注意 各部材の接続部は水が漏れない様付属のボンドで接着してください。

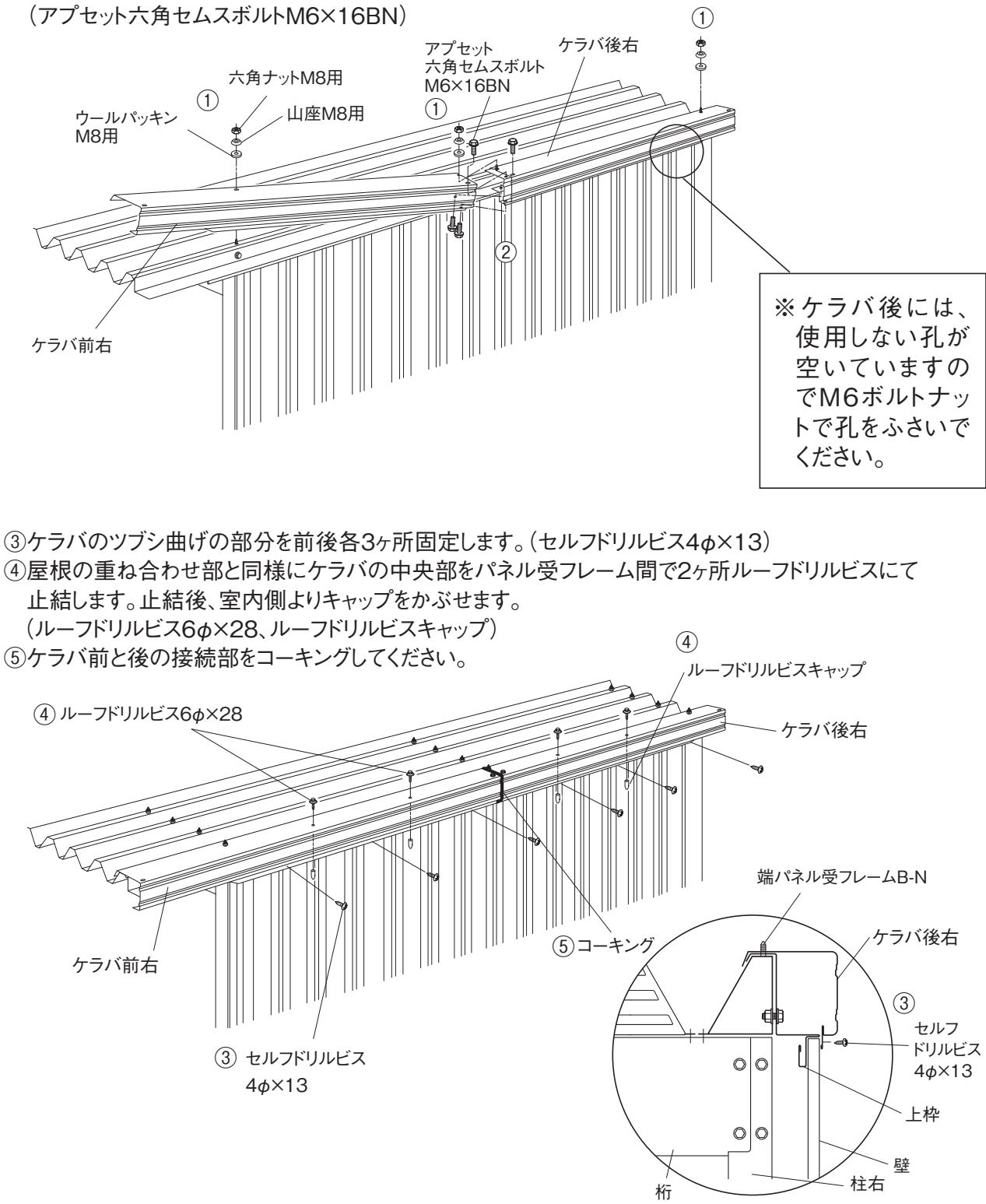
①屋根後部の矢印の位置に10φの孔を明けます。

注意 孔明け位置を間違えると、鼻隠し後の孔と位置が合いませんので、④鼻隠しを参照し、鼻隠し後を沿えて孔位置を確認してから孔をあけてください。

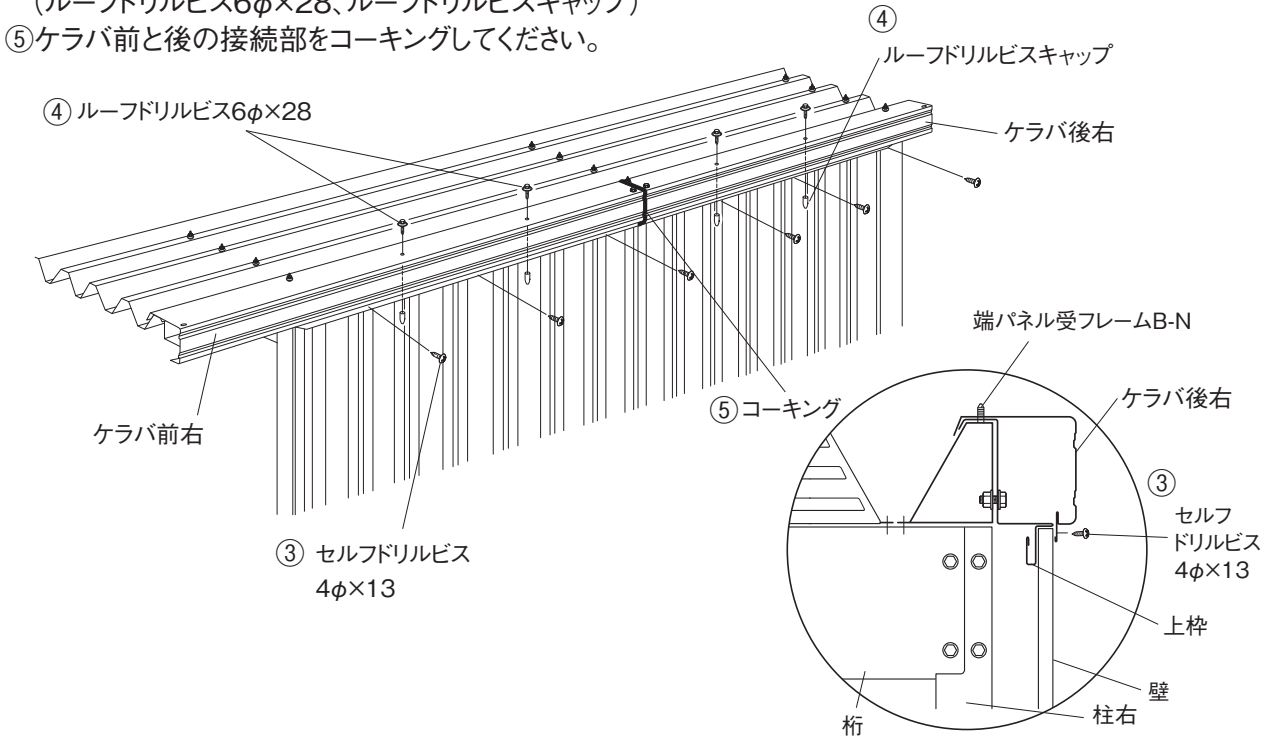


13 ケラバ

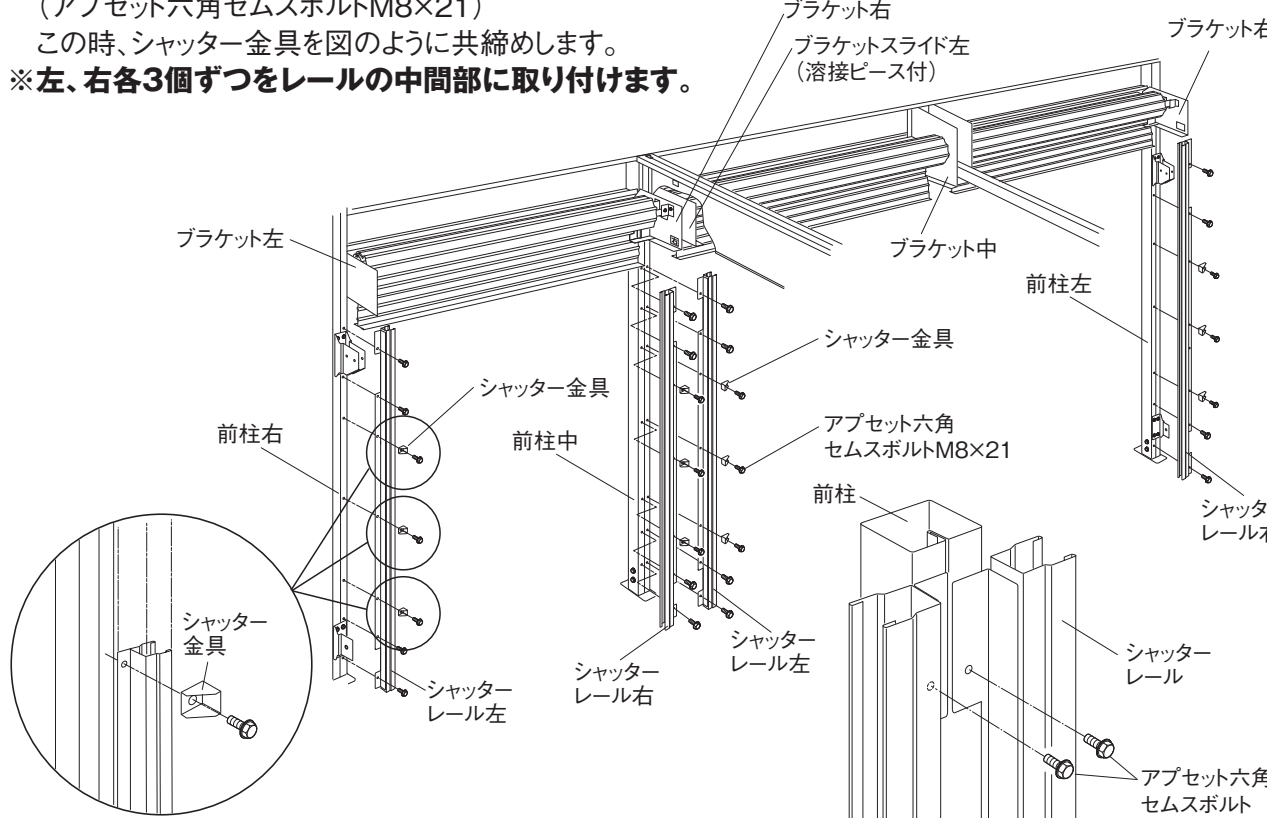
- ①ケラバ前右、後右をパネル受フレームの剣先ボルトに取り付けます。
(ウールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)
②中央部分はケラバ包み接続金具に差し込み取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)



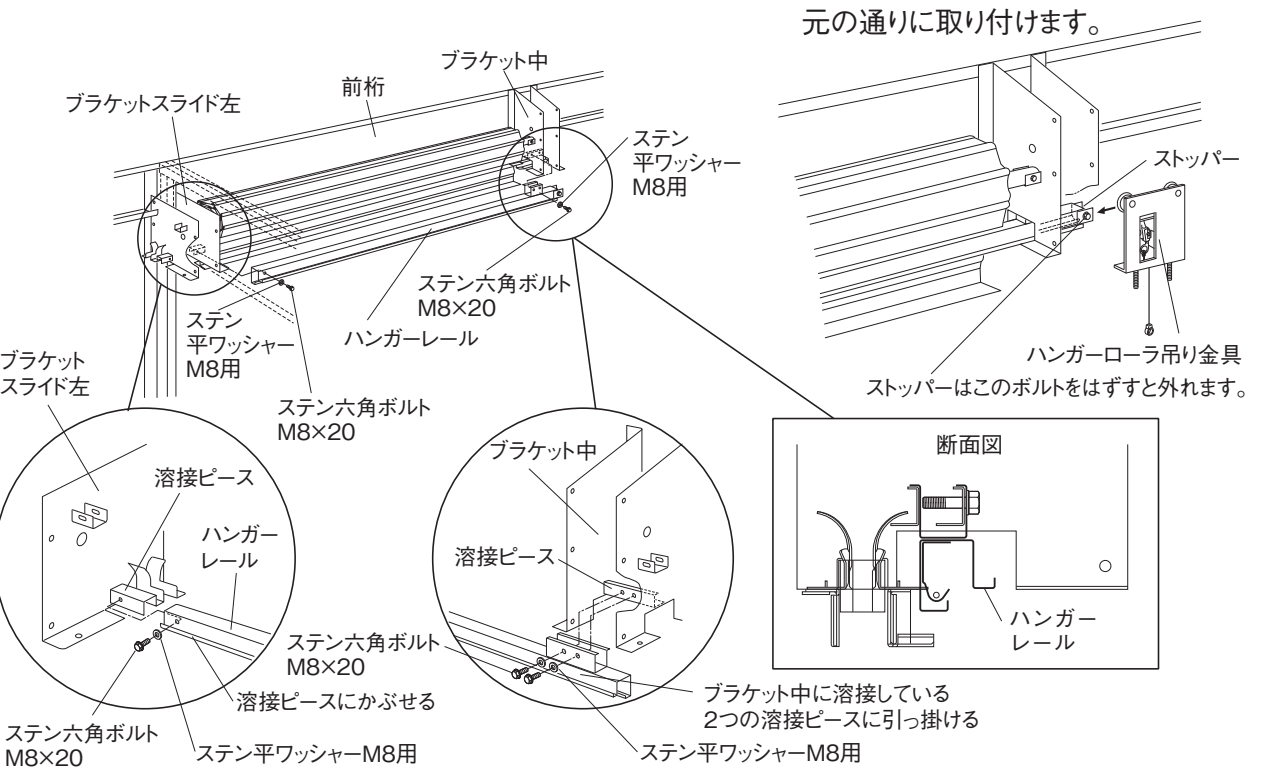
- ③ケラバのツブシ曲げの部分を前後各3ヶ所固定します。(セルフドリルビス4φ×13)
④屋根の重ね合わせ部と同様にケラバの中央部をパネル受フレーム間で2ヶ所ルーフトドリルビスにて止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。
(ルーフトドリルビス6φ×28、ルーフトドリルビスキャップ)
⑤ケラバ前と後の接続部をコーキングしてください。



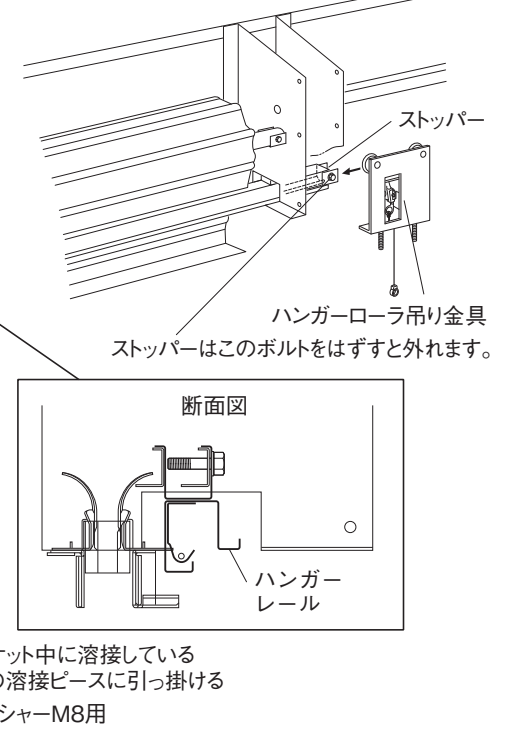
- ⑦シャッターレール左右をブラケット下部に差し込み、柱に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21)
この時、シャッター金具を図のように共結します。
※左、右各3個ずつをレールの中間部に取り付けます。



- ⑧ハンガーレールを下図の様に取り付けます。
(ステン六角ボルトM8×20、ステン平ワッシャーM8用)

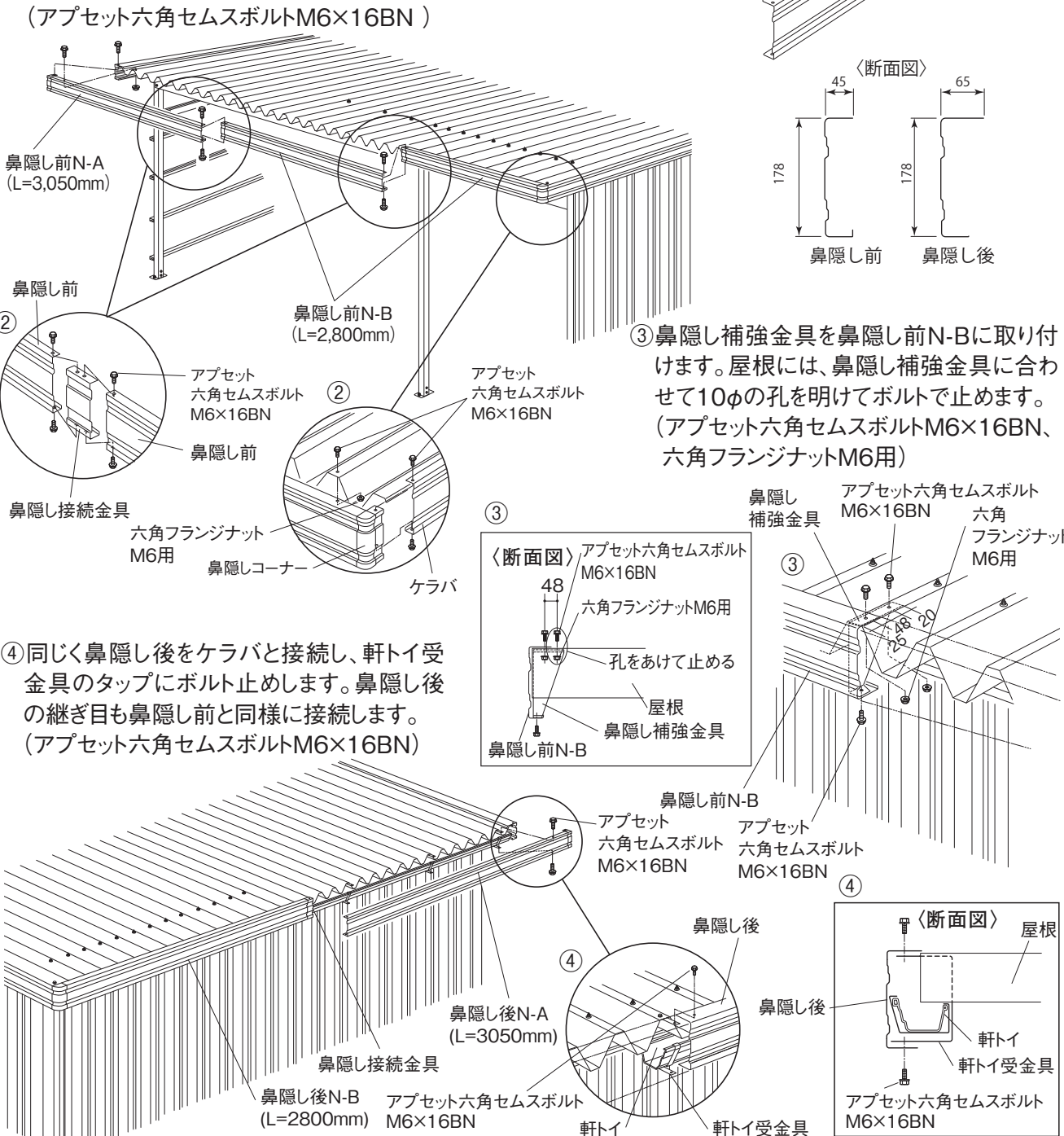


- ⑨ストッパーを外してハンガーローラ吊り金具をレールに取り付け、ストッパーを元の通りに取り付けます。

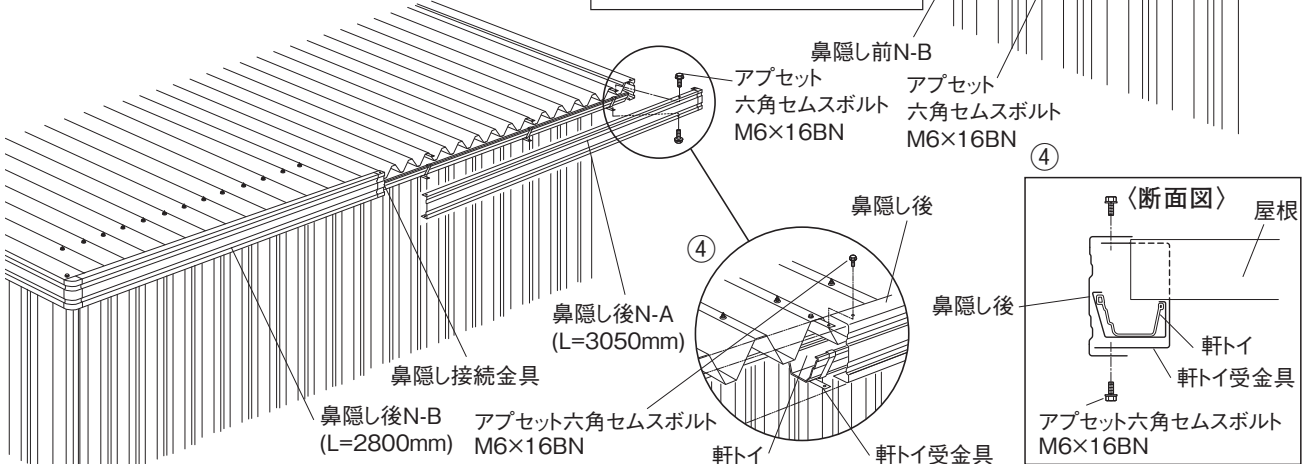


14 鼻隠し

- ①鼻隠しコーナーを、鼻隠し前・後の両端に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)
※鼻隠しコーナーの上下の向きに注意して取り付けてください。
②鼻隠し前をコーナーでケラバと接続し、屋根と鼻隠しコーナーにボルト止めします。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN、六角フランジナットM6用)
鼻隠し前の継ぎ目は鼻隠し接続金具で接続します。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)

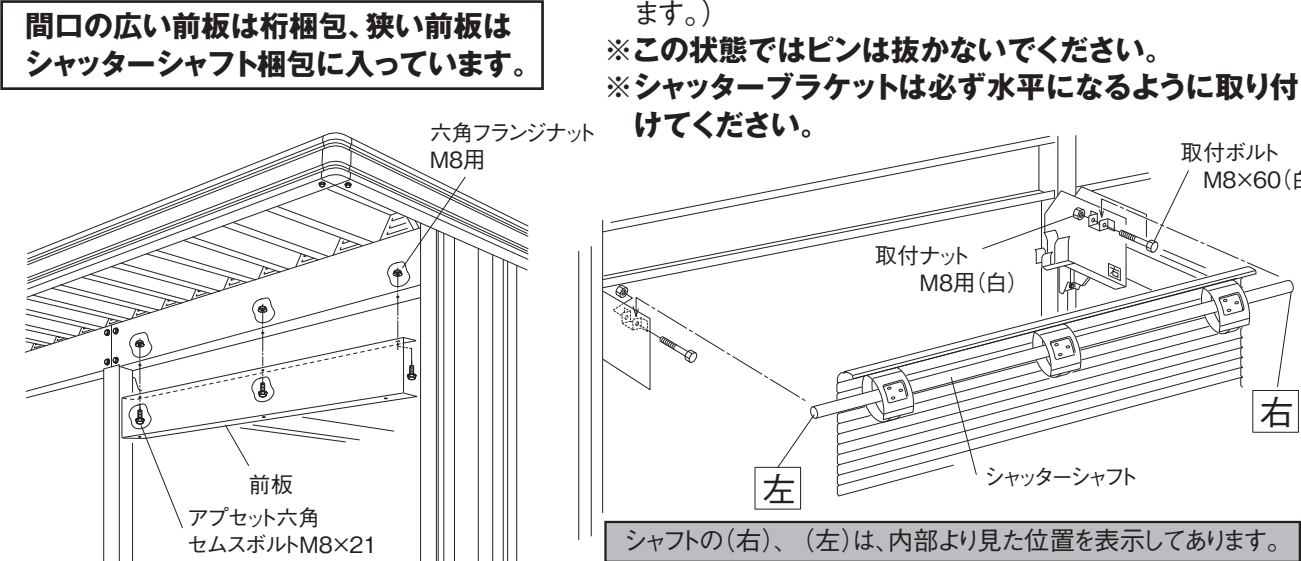


- ④同じく鼻隠し後をケラバと接続し、軒トイ受金具のタップにボルト止めします。鼻隠し後の継ぎ目も鼻隠し前と同様に接続します。
(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)

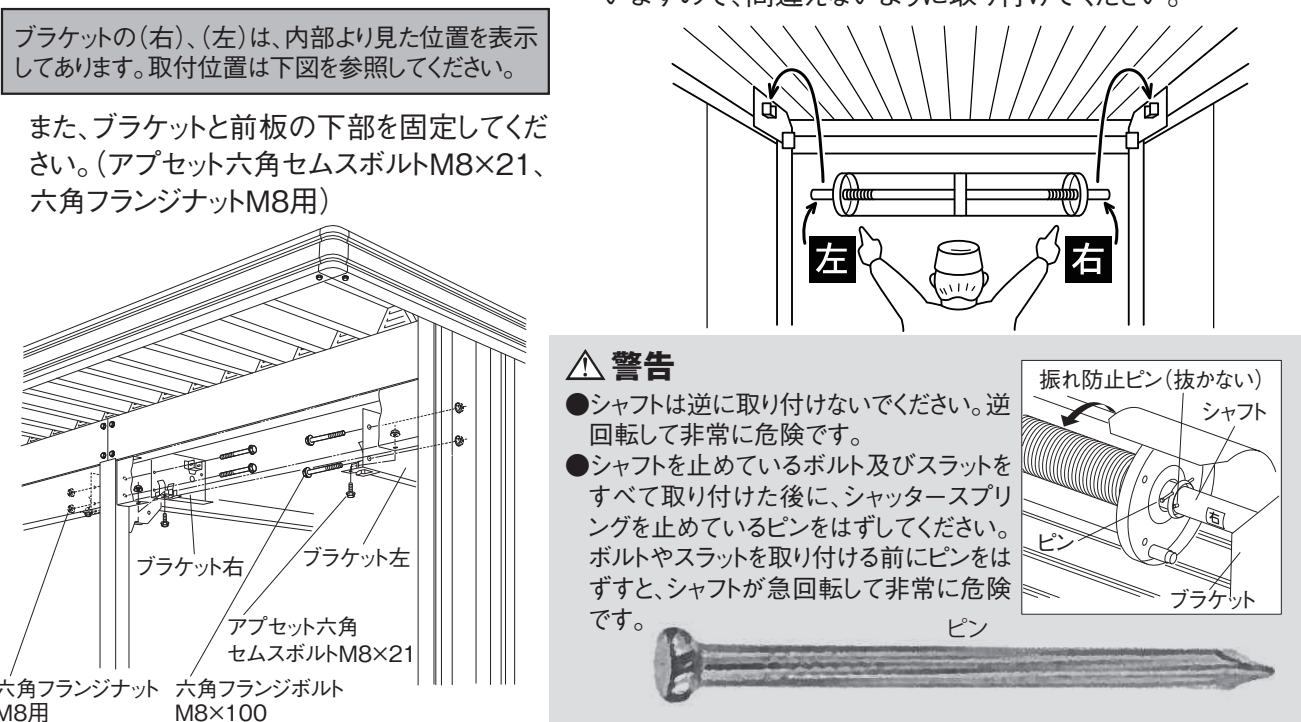


15 シャッター

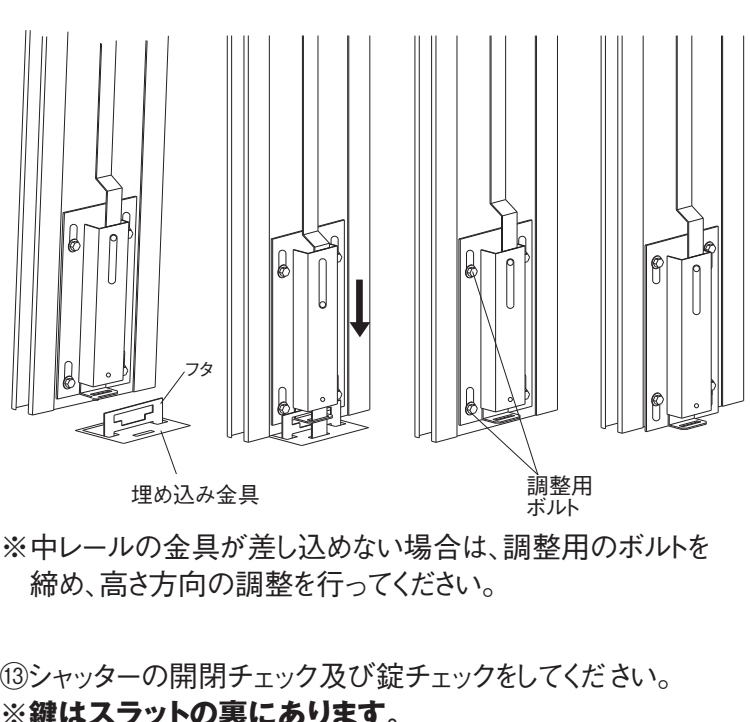
- ①前板を桁に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
間口の広い前板は桁梱包、狭い前板はシャッターシャフト梱包に入っています。



- ②シャッターブラケット左右とブラケットスライド左を前柱に取り付けます。(六角フランジボルトM8×100、六角フランジナットM8)
ブラケットの(右)、(左)は、内部より見た位置を表示してあります。取付位置は下図を参照してください。

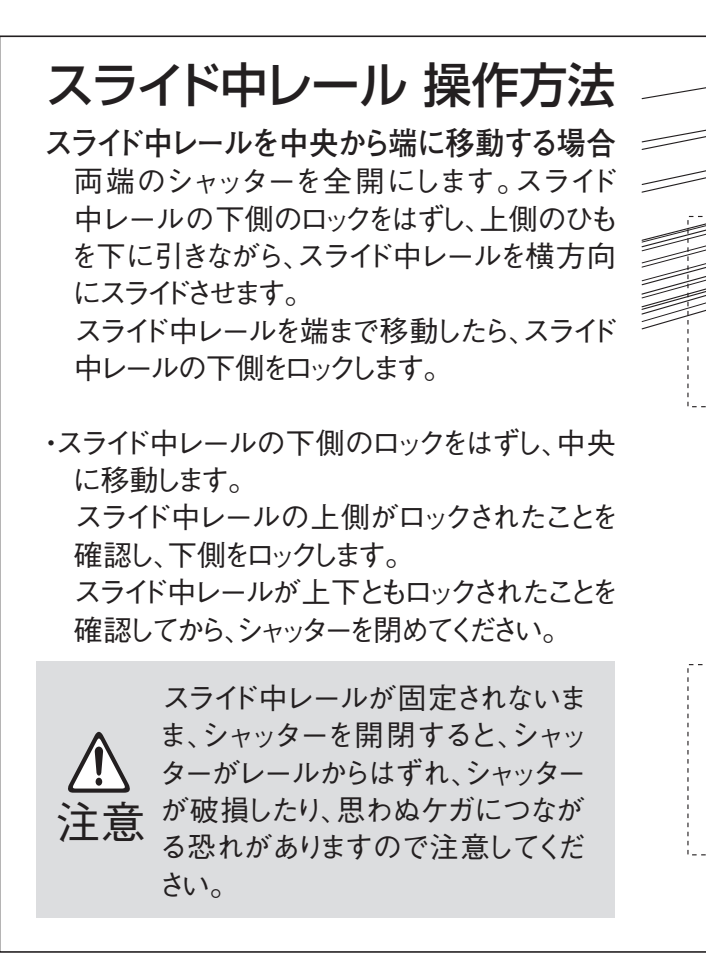


- ⑫埋め込み金具のフタを起こし、中レールの金具がスムーズに入る事を確認してください。



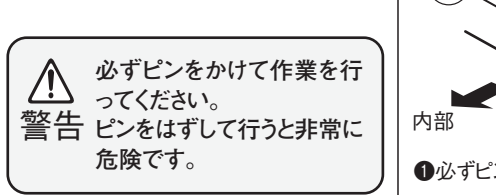
- ※中レールの金具が差し込めない場合は、調整用のボルトを締め、高さ方向の調整を行ってください。

- ⑬シャッターの開閉チェック及び錠チェックをしてください。
※錠はスラットの裏にあります。

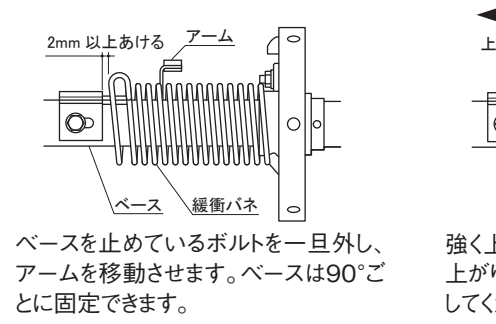


- シャッタースプリングの若干の調整は、次のようにしてください。
ただし、大幅な調整は最寄りのヨドコウ営業所にお問い合わせください。

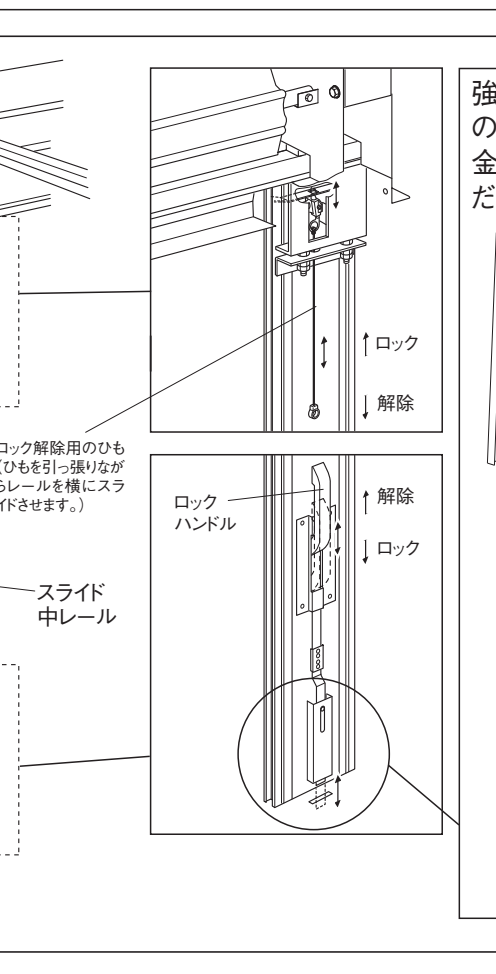
- ①ピンを掛けて、スプリングを固定する。
②ボルトをはずし、取り付け位置を変える。



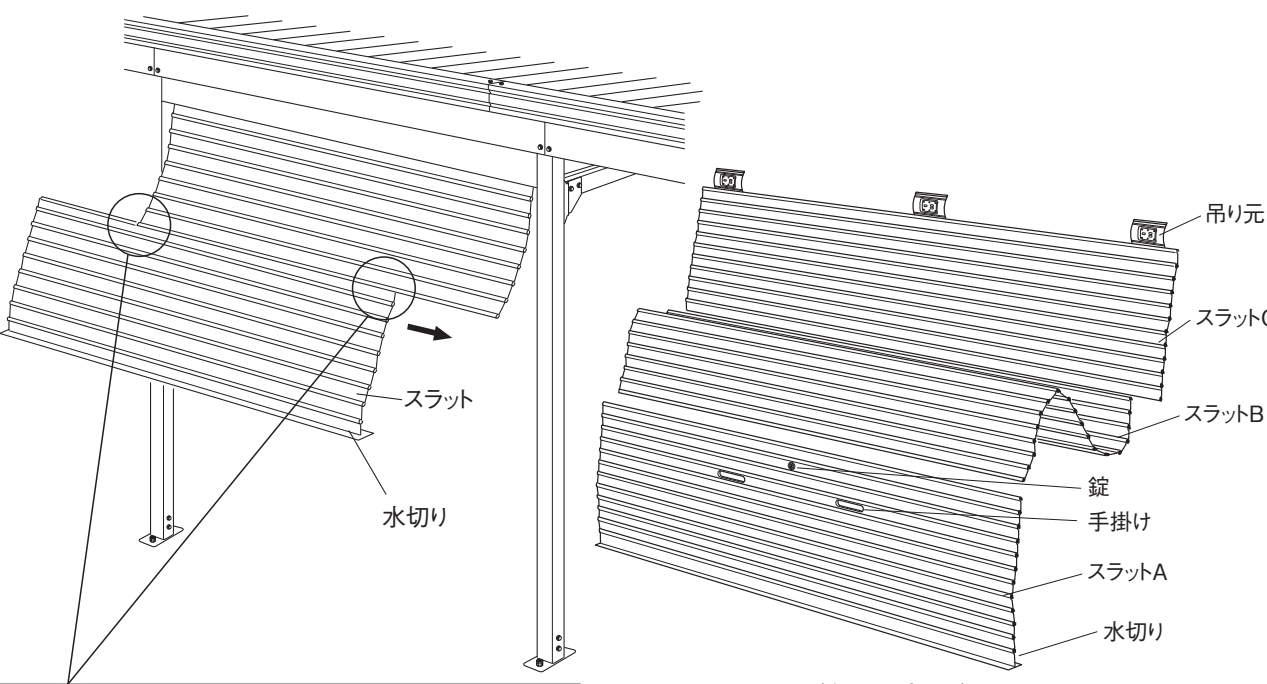
- 緩衝パネでのパネバランス調整方法(FHタイプのみ)



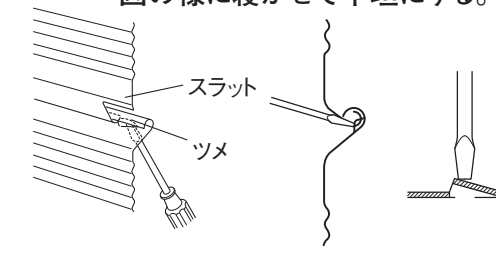
- 強く上がりすぎる場合はアームを左に、上がりきらない場合はアームを右に動かしてください。



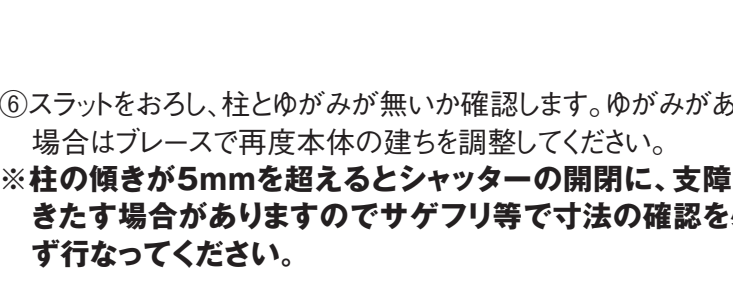
- ④スラットの両端のかしめの片側(差し込む方)だけをペンチやドライバーで寝かせ、平坦にします。
スラットとスラットを平行に上からC→B→Aの順に差し込み、寝かせたかしめをペンチでつぶし、ずれないようにします。



- 差し込む方のかしめを図の様に寝かせて平坦にする。



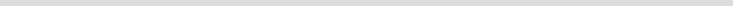
- ⑤シャフトを少し回転させた状態で写真のピンを抜き取ります。
※ピンを抜く時は、必ずスラットをおろしてください。



- シャフトの(右)、(左)とスラットがガイドに入っているか確認してください。

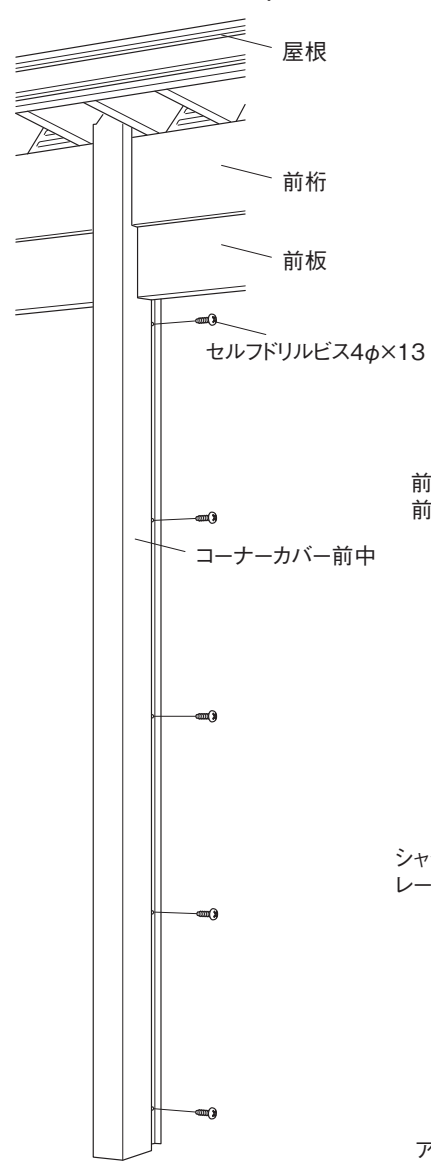
- 尚、レール間ピッチも上下とも5mm内で施工してください。

- △注意 ●柱が広すぎると錠がからなくなるだけでなく、強風時にスラットがレールからはずれる場合があります。



16 コーナーカバー前中・隙間隠し金具(布基礎の場合のみ)

- ①連棟タイプの場合、最後に前柱中及び前柱連結にコーナーカバー前中を取り付けます。
(セルフドリルビス4φ×13)



- 以上で完成です。

- この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

- 部品箱の中の取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

- (SOB-8657) 図

- ヨドコウ

- SOB-8657_NR_KS_2025A